



# かわいっ子

河合小だより

令和3年11月

【増刊号】

「強く 正しく 温かく」－他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成－

文責：学校長



## 令和3年度全国学力学習状況調査結果より

吉岡 優



5月27日（木）に実施された[全国学力・学習状況調査](#)における調査結果の概要と今後の本校の対応について、お知らせします。

### （1）教科（国語・算数）の結果分析 （◎大変良い、○概ねよい、△やや課題がある）

国語	問題番号	項目
◎	3一	構成についての説明として適切なものを選択する
◎	3三(1)ア	文章の中の一部アを漢字を使って書き直す（ころがっている）
○	3三(2)イ	文章の中の一部イで波線部「残されています」の主語として適切なものを選択する
△	2三	メストラルは何をヒントにどのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く
△	2四	面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く
算数	問題番号	項目
◎	3(5)	集団の特徴を捉えるためにどのようなデータを集めるべきかを判断することができる
◎	4(3)	小数を用いた説明を解釈し、基準量に対し比較量が示された小数になる理由を記述できる
○	1(1)	二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる
△	1(4)	条件に合う時刻を求めることができる
△	3(3)	データを二次元の表に分類整理することができる

国語・算数とも、全体的に良好でした。両教科ともに知識理解を問う問題は正答率が高く、基礎基本がしっかり定着していることがよくわかります。真面目に学校での授業を受け、家庭学習（宿題など）もしっかりできているためと考えられます。

### （2）教科の課題分析

教科	育成すべき力	課題の特徴
国語	①書く力	複数の条件に合わせて作文を書くこと
	②（長文）読解の力	特に初発の文章に対して、筆者の主張、要約、接続語の意味するところなど大きく文意をとらえること
算数	①「図形」分野	問題文と図（表）とを結び付けて必要な情報を取り出し、解いていくこと
	②「時計」の問題	1(4)「午後1時35分から50分後の時刻を書く」設問

### (3) 教科の今後の取り組み

国語では「書く力」の育成において、PISA型読解力向上の観点から、「連続型テキスト」とともに、「非連続型テキスト」からの読みとりの能力を強化しつつ、お話づくり、日記等の作文活動、さらにはプレゼン能力の育成に取り組みます。また、「(長文)読解の力」の育成では、特に説明的文章について、筆者の述べたいことや段落の趣旨に着目し、その主張に迫りながら読みを深めます。また、修飾語等の文法理解を深め、的確で豊かな表現を学びます。

算数では引き続き、「おの検定」等の取組で基礎的な知識・技能の習得を図ります。また、図形の面積の学習では、公式を導き出す過程において、底辺と高さの関係性を理解したり、必要な情報を抽出したりする力の育成を主眼に置いて学習を進めます。その際、ICT機器を活用し、動きのある教材等を工夫していきます。また、時計の学習では、日頃から教室の(アナログの)時計を見る(使う)ことを意識づけ、時刻と生活習慣を結びつけていきます。

### (4) 学習や生活状況に関する分析

これは、児童一人ひとりの学習、規範意識、社会に対する興味・関心等を質問紙による調査によって調査したものです。本校児童の特徴的な事項を抜粋して報告します。

【良好な項目】「できている、どちらかといえばできている」の合計値が 100.0%

- (7) 将来の夢や目標を持っていますか。
- (10) 人が困っているときは、進んで助けていますか。
- (12) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- (36) 友だちと話し合うとき、友だちの話親意見を最後まで聞くことができますか。
- (53) 算数の勉強は大切だと思いますか。
- (55) 算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか。



【気になる項目】「あてはまらない、どちらかといえばあてはまらない」の合計値

- |  |       |
|--|-------|
| (2) 毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。                     | 26.9% |
| (3) 毎日同じくらいの時刻に起きていますか。                    | 15.3% |
| (14) 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか。 | 37.4% |
| (23) 新聞を読んでいますか。                           | 76.9% |

子どもたちは自尊感情をはじめ、思いやりの心などは順調に育っています。その他にもスマホの利用時間や家庭での学習時間もおおむね良好な結果が出ています。一方、新聞を読んでいる児童が 76.9%もいることから、依然として「活字とのふれあい(読書の習慣や取り組み)」に課題があると思われま

東北大川島隆太教授は「長時間勉強してもゲームを長時間すると学習効果は打ち消される」、「読書習慣は脳を発達させる」と発言されていることから、家庭ではスマホ時間を減らし、読書時間を増やす、そして机に向かって勉強することの声かけなどをお願いいたします。